

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 2 2 号
2 0 1 4 年 1 1 月 1 2 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「鳥飼車両基地の井戸掘削」に関する申し入れ

現在、鳥飼車両基地の井戸掘削工事が進められつつある。基地がある摂津市との関係については良好な関係を保つべきであるが、11月10日の摂津市臨時市議会においてJ R 東海を摂津市が提訴することを全会一致で可決された。

この原因は会社が進めてきた強引な工事とその姿勢にあると言える。このような関係を続けていては企業活動、社会的イメージが悪化する一方である。

また、鳥飼車両基地内には既にいくつかの段差や亀裂があり、これらは地盤沈下の跡であったり、今も沈下が続いている疑いがあると考えられる。このような職場では車両基地と社員の安全が脅かされ危険な状態が放置されていることになる。地域住民の安全と社員の安全確保が会社が取るべき第一の責務であると考ええる。

よって、下記の通り申し入れるので早急に労使協議の場を設定すること

記

1. 「井戸掘削問題」に関する今日までの摂津市と地域住民の声を無視した対応を改めること。
2. 11月10日、摂津臨時市議会において摂津市がJ R 東海を提訴することが決定した。会社として摂津市が要求している内容を把握しているのか。把握しているなら摂津市の和解内容を受けようとする意思はないのか。会社の見解を明らかにすること。
3. 井戸の掘削工事が行われている鳥飼車両基地内には、既に多くの箇所にて地盤沈下の跡が存在する。このような現象が更に発生・悪化することはないのか明らかにすること。
4. 昨年から今年にかけて、大阪仕業検査車両所の検査・修繕を行なう庫内で、車両とレールを支えるコンクリート製のローソクの補修・補強工事が多くの箇所で行われている。これは、庫内の地盤沈下とは関係がないのか、また関係がないのであれば、その原因を明らかにすること。
5. 11月6日付の朝日新聞記事に柘植社長の9月の会見の記事「環境を悪くしてのコスト削減は許されない。環境は絶対の優先事項」が掲載されていた。会見の内容と今回の地下水汲み上げによる地盤沈下の問題との関連について会社の見解を明らかにすること。

6. 以上の事が改善、解消されない限り、市民と社員の安全は確保されない。したがって、現在、強行されている工事を中止すること。

以 上